

注意：この届出書は（正・副）2部必要です。

記入例

点検実施日を記入

別記様式第1

(その1)

消火器具点検票													
名称	株式会社〇〇						防火管理者	(選任されていれば記入)					
所在	鯖江市〇〇町〇〇番〇〇号						立会者	〇〇〇〇					
点検種別	機器点検		点検年月日		令和〇年〇〇月〇〇日		令和		年		月	日	
点検者	氏名 〇〇〇〇		点検者 所属会社		社名		TEL		記載不要				
					住所								
点検項目			点検結果						措置内容				
			消火器の種別										判定
			A	B	C	D	E	F					
機器点検													
設置状況	設置場所	①						①	通路障害 (1階南通路)		設置位置変更		
	設置間隔	○						○	不良の内容を記入		↑		
	適応性	○	*不良があった数を記入					○	不良の内容を記入		↑		
	耐震措置	○	*改善した場合は数を○で囲む					○	不良の内容を記入		↑		
表示・標識	表示・標識	○	*良の場合は○印					○	不良に対する措置内容を記入		↑		
	本体容器	○						○					
	安全栓の封	○						○					
	安全栓	○						○					
	使用済みの表示装置	○						○					
	押し金具・レバー等	○						○					
	キヤップ	○						○					
	ホース	○						○					
	ノズル・ホーン・ノズル栓	○						○					
	指示圧力計	○						○	加圧式消火器の場合記載不要				
外形	圧力調整器												
	安全弁												
	保持装置								記載不要				
	車輪 (車載式)												
	ガス導入管 (車載式)												

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。Aは粉末消火器、Bは泡消火器、Cは強化液消火器、Dは二酸化炭素消火器、Eはハロゲン化物消火器、F是水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は○印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に○印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。

別記様式第 1

消火器具 (その 2)

消火器の内部等機能	本・体内筒容器等	本体容器																			
		内筒等																			
		液面表示																			
	消火剤	性状																			
		消火薬剤量																			
	加圧用ガス容器																				
	カッター・押し金具																				
	ホース																				
	開閉式ノズル・切替式ノズル																				
	指示圧力計																				
	使用済みの表示装置																				
	圧力調整器																				
	安全弁・減圧孔 (排圧栓を含む。)																				
	粉上り防止用封板																				
	パッキン																				
サイホン管・ガス導入管																					
ろ過網																					
放射能力																					
消火器の耐圧性能																					
簡火用具	外形	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
	水量等	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/		
備考	<p>*設置している消火器の情報を記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・〇〇式 (蓄圧式又は加圧式) ・製造年 (〇〇〇年製) 																				
測定機器	機器名	型式	校正年月日	製造者名	機器名	型式	校正年月日	製造者名													
器種名	設置数	点検数	合格数	要修理数	廃棄数																
粉末 (加圧式)	1	1	1	0	0																
粉末 (蓄圧式)	1	1	1	0	0																

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格 A 4 とすること。
- 2 消火器の種別欄は、該当するものについて記入すること。A は粉末消火器、B は泡消火器、C は強化液消火器、D は二酸化炭素消火器、E はハロゲン化物消火器、F は水消火器をいう。
- 3 判定欄は、正常の場合は〇印、不良の場合は不良個数を記入し、不良内容欄にその内容を記入すること。
- 4 選択肢のある欄は、該当事項に〇印を付すこと。
- 5 措置内容欄には、点検の際措置した内容を記入すること。